

にじの丘だより

第 28 号

令和 3 年 9 月 13 日発行
瀬戸市立にじの丘小学校
瀬戸市立にじの丘中学校

「WITH コロナ」

にじの丘中学校長 早川 寿

9月1日（水）、始業式を行いました。オンラインによる始業式でしたが、子ども達は新しい学期に期待を抱いて臨んだことと思います。また、始業式には5連区の自治会長様にも登場していただき、一言ずつ励ましのお言葉をいただきました。2学期も地域の皆様に支えられる学校であることを実感する始業式になりました。本当にありがとうございました。



さて、2学期は緊急事態宣言下で始まりました。ご存知のとおりデルタ株の感染力は極めて強く、学校においても予防意識をさらに高めています。例えば、給食においては「黙食」を徹底するように努めています。「黙食」とは、教室内でできるだけ距離をとり、全員が同じ方を向き、しゃべらずに喫食することです。給食は学校生活において感染リスクが高いことの1つと言われていますが、子ども達の協力によって、「黙って食べる」給食が行われています。その様子をけなげに思います。これからも、手洗い・換気・距離・マスク・・・等、必要な対策を徹底していきたいと思います。



今後の感染拡大に備えてのお願いです。本校の児童生徒・職員に陽性者が出た場合、必要箇所への消毒作業と濃厚接触者を特定する必要があるが生じます。そのために、以下の対応をとることがありますので、ご協力をお願いします。学校メール(ミマモルメ)での連絡になります。引き続き確認をお願いします。

	月	火	水	木	金	土	日
陽性の判明が夕方まで	授業を中断して ・小学生は引き渡し下校 ・中学生は自分で下校						
陽性の判明が夕方以降	翌日は休校						翌日は休校

※時刻によっては通常の下校とします。ただし、放課後児童クラブ及び放課後学級へ行く予定の児童は学校で待機するため、お迎えをお願いします。

※状況により必ずしも上の表の通りの対応とは限りません。予めご了承ください。

いずれにしても、急な対応をお願いすることがあり誠に恐縮です。瀬戸市では当面、このような対応になりますことをご理解いただき、ご協力をお願いいたします。

新型コロナウイルス感染拡大防止に対する「にじの丘学園」の取り組み

大前提 『密集』『密閉』『密接』を避ける

① 手洗いの徹底

登校後、教室を移動した後、長い休み時間後、給食前後など、手洗いを徹底しています。また、子どもたちが使う水道の蛇口は、夏休み中に全て自動水洗に切り替え、非接触で手洗いができるようになっています。



② 換気を行う

本校は、24時間の換気システムが導入されており、常に教室内の空気が新鮮な空気と入れ替わるようになっています。さらに、教室の窓を少し開けて自然の空気の入替えも行っています。

③ マスクの着用

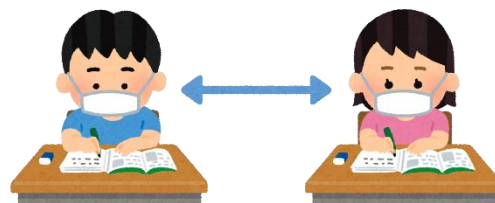
校舎内とバスの中では原則、教職員も児童生徒もマスクを着用するようにしています。（マスクの素材も、布やウレタンよりも不織布のほうが飛沫を防ぐ効果が高いとされているため、不織布を推奨しています。）

④ 感染症予防と熱中症対策

体育の授業においては熱中症対策のためにマスクの着用は必要ないと指導していますが、運動を行っていないときは可能な限りマスクを着用するよう伝えています。ただし、マスクを着用しない場合は人との距離を十分に確保するよう配慮しています。

⑤ 距離を意識した教育活動

近距離で長時間になるようなグループワーク、合唱、リコーダー、鍵盤ハーモニカなどの演奏は行わないようにして、学習時期や内容を入れ替えたり、学習方法を工夫したりするなどして教育活動を行っています。



⑥ 給食の取り組み

給食は、対面での喫食を避け会話は控え黙って食べる（黙食する）よう指導しています。また、食事以外の場面ではマスクを着用するよう呼びかけています。

⑦ 健康観察の徹底

各ご家庭で行っていただいている「健康観察カード」の確認と、毎朝の担任による健康観察を丁寧に行っています。また、教職員も検温と健康チェックを毎日行っています。

⑧ 差別や偏見のない思いやりのある心の育成

誰しもが感染しうる病気であり、思いやりのある言動がとれるような指導を繰り返し行っています。

このような感染防止対策をしても、陽性者や濃厚接触者が出てしまうことが考えられます。常にメール(ミマホルメ)の情報に注意していただき、ご理解とご協力をお願いいたします。

